

藤島地域の改善提案 東洋大学「庄内藤島調査」報告会

東洋大学社会学部の「庄内藤島調査」の現地報告会が27日、東田川文化記念館明治ホールでおこなわれ、調査に協力した職員や市民が大勢出席しました。平成19年度から始まった調査は今回で8年目となります。



年度に和歌山大学教育学部に移りましたが、非常勤講師として継続されました。今回は「教育」「お米(消費・PR)」「おいおう」「藤の花」「給食」「福祉」の6ジャンル7チームに分かれ、昨年9月に調査研究にあたり、藤島地域の改善提案やつや姫パンフの



作成などに大きな拍手がありました。このうち教育チームでは、福祉と農業の連携をテーマに県立庄内農高を調査したが、現場ではまだ注目されていないこと、一方で加

工品の販売など地域連携の活発なことが評価されました。つや姫の販売戦略としてのパンフ作成も改良提案され、消費者が食べてみたくなるようなアイデアがいろいろ出されました。

学生等は東京事務所での学びや藤島産農産物の首都圏での宣伝販売にも活躍し、藤島地域のイベントに参加したり、藤島応援団として大きな力を発揮してきました。

介護保険料10段階から12段階へ

鶴岡市議会3月議会に、平成27年度から29年度までの第6期介護事業計画における介護保険料の改定が提案されました。

鶴岡市議会3月議会に、平成27年度から29年度までの第6期介護事業計画における介護保険料の改定が提案されました。基準額で第5期の保険料月額5383円を6242円に859円(16%)アップする改定案で、県内13市ではトップ水準となります。所得段階は改善され、応能負担が強まります。



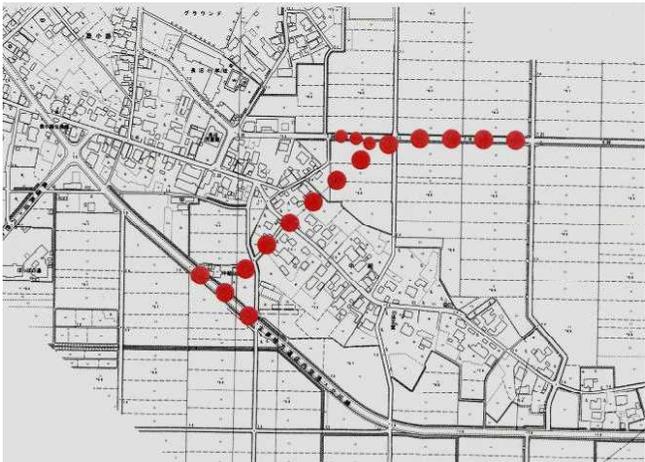
学生が作成したつや姫パンフ

鶴岡市 介護保険料額比較表

H24-26 現行		H27 改正案					
段階	年額	段階	要件	年額	月額		
第1段階 (×0.5)	32,300	第1段階 (×0.5)	市民税	老齢福祉年金受給者、生活保護受給者等	37,500	3,125	
第2段階 (×0.5)	32,300		所得金額等				
第3段階 (×0.7)	45,200		世帯非課税、本人非課税				課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円以下等
第4段階 (×0.75)	48,500		課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円超120万円以下等				
第5段階 (×0.95)	61,400	第4段階 (×0.9)	世帯課税、本人非課税	課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円以下等	67,400	5,617	
第6段階 (基準額)	64,600						第5段階 (基準額)
第7段階 (×1.25)	80,800	第6段階 (×1.25)	世帯課税、本人課税	合計所得金額が125万円未満等	93,700	7,808	
第8段階 (×1.5)	96,900	第7段階 (×1.5)		合計所得金額が190万円未満等	112,400	9,367	
第9段階 (×1.8)	116,300	第8段階 (×1.75)		合計所得金額が290万円未満等	131,100	10,925	
		第9段階 (×1.8)		合計所得金額が400万円未満等	134,900	11,242	
		第10段階 (×1.85)		合計所得金額が700万円未満等	138,600	11,550	
第10段階 (×1.9)	122,800	第11段階 (×1.9)		合計所得金額が1,000万円未満等	142,400	11,867	
		第12段階 (×1.95)	上記以外	146,100	12,175		

安倍「暴走」政治を止める 共産党の県議が鶴岡から必要です!!

長沼地内の一般県道東沼 長沼余目線の改良路線案



中組地内を横断して主要地方道庄内空港・立川線につなぐもので、地元住民からも理解が得られれば詳細設計に向けた事業化が図られるとのこと。大いに期待されます。

長沼地内の一般県道東沼長沼余目線の改良整備について、平成25年度に県による航空写真、測量調査がおこなわれ、1月に改良路線案が示されました。

福祉灯油は電気暖房に
使えないか

鶴岡市でも県の福祉灯油助成を実施し、歓迎されています。

しかし制度に該当しても電気暖房の家では灯油が使えないとの声があり、4日の市議会予算特別委員会でも菅井巖議員が取り上げました。

健康福祉部長は「県の制度が灯油となっており、他には使えないが、窓口でもその声を聞いており県にあげていく」と答えました。

安倍暴走に批判 自民元幹部から次つぎ

「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

安倍暴走に批判

自民元幹部から次つぎ

「保守政治というより、右翼政治みたいな気がする」（河野洋平元自民党総裁）、「先人が長い時間をかけて積み重ねてきたことへの謙虚さを、もう少し持ってほしい」（古賀誠元自民党幹事長）——。自民党中枢にいた元幹部が、民意に背く安倍政権の暴走政治に相次ぎ批判の声を上げています。

右翼政治みたい ■ 痛みわからぬ

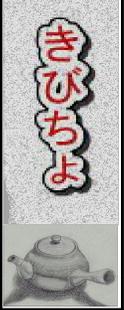
安倍晋三首相が今夏発表する戦後70年の新談話。これまで「河野談話（1993年）」「村山談話（96年）」にあった「植民地支配と侵略」「慰安所における強制」への反省など、その核心部分をあいまいにした「新談話」にしようとしています。河野氏は名古屋市内での講演（2月24日）で、「日本の歴史認識が10年刻みに変わることはありえない」、「歴代の自民党のリーダーが抑制的に行ってきたいろいろな問題について、これ以後に抑制を解き放って走り出すように見える」と述べ、安倍政権を批判しました。沖縄県民と翁長雄志知事の反対を無視して名護市辺野古への米軍新基地建設をすすめる安倍首相。野中広務元自民党幹事長はTBS系番組（2月15日放送）で、「翁長知事、沖縄県民に対する態度は絶対に許せない」と抗議。「本当に悔しい。自民党がこんなにも沖縄を差別するのか、本当に残念に思っている」と憤りました。

山崎拓元自民党副総裁と古賀氏は週刊誌「週刊朝日」（3月6日号）のインタビューで、それぞれ安倍首相を批判しました。山崎氏は集団的自衛権行使について「戦後70年の外交安保政策の大転換を閣議決定でなし崩しにやるべきではない」と指摘。さびた、「戦後70年の大改革」などと論が何一つない。非常に憂鬱すべき状況だと語っています。自民党元幹部の一連の発言は、安倍政権が戦後の保守政治が掲げてきた諸原則すら否定する、特異な立場にあることを示しています。

しんぶん赤旗 3月1日付

献金疑惑がゾロゾロ

先日、鉛筆を嘗めなめ確定申告書を覗みながら予算委員会をラジオで聞いていたのだ。▼これが言論の府のやりとりかとガツカリしたんだが、政治献金疑惑がゾロゾロだった。▼ナンダコレと思うのが、質問にまともに答えていないことだ。何回聞いても同じような話で一向に進展がない。議長が自民党だからだろうが、注意することもないから、ただただ無駄に時間を費やす。▼首相がハッキリ物を言うのは、人をゴゲル時と自説を述べる時だけで、他は話がかみ合わないようになっている。これで知恵を集めて日本を良くしようという話ではないですヨ。▼時間を多く取つていたのが政治献金の事。農水大臣は辞めた。文科・法務・環境、さらに今、経済再生と交替



4月県議選は県政の在り方が問われるが、他方このような安倍政権に、多くの県民がノーを突きつけるチャンスの選挙でもある。河野談話見直しを求める請願を、現在1議席の共産党が、全議員への働きかけと県民運動の共同で阻止した。自共対決の時代、関とおる候補の当選で共産党を複数議席に躍進させ安倍暴走にストップをかけた。

したばかりの農水の各大臣に新たな献金疑惑が出てきたのだが。▼こんなことになるのも、政党助成金が制度化された時、政治献金はなくすると法律に書いたのだから、貰うのは止めようじゃないか、と言われてもソーダネーとは絶対言わない。これじゃ政治の信頼は戻らないぜ。絶対。

▼この法律は、政治献金を貰いたい者たちが作ったものなんだが、金の補助金を貰った企業からはなぜ原則的に、なぜその年だけなのだ。▼知らないで貰ってしまったので、法律的には問題ないが人道上悪いと思つたから返したとはナンダ。人に知らなければ人道上もなかっただろうが。よく言うぜ、人道上などと。▼しかし考えて見ろよ。人道上悪いモノが法律的に問題ナイなどとはあり得ないことだろうが。高い年俸を貰っているクセに。もつとマジメにヤレ！（石川）